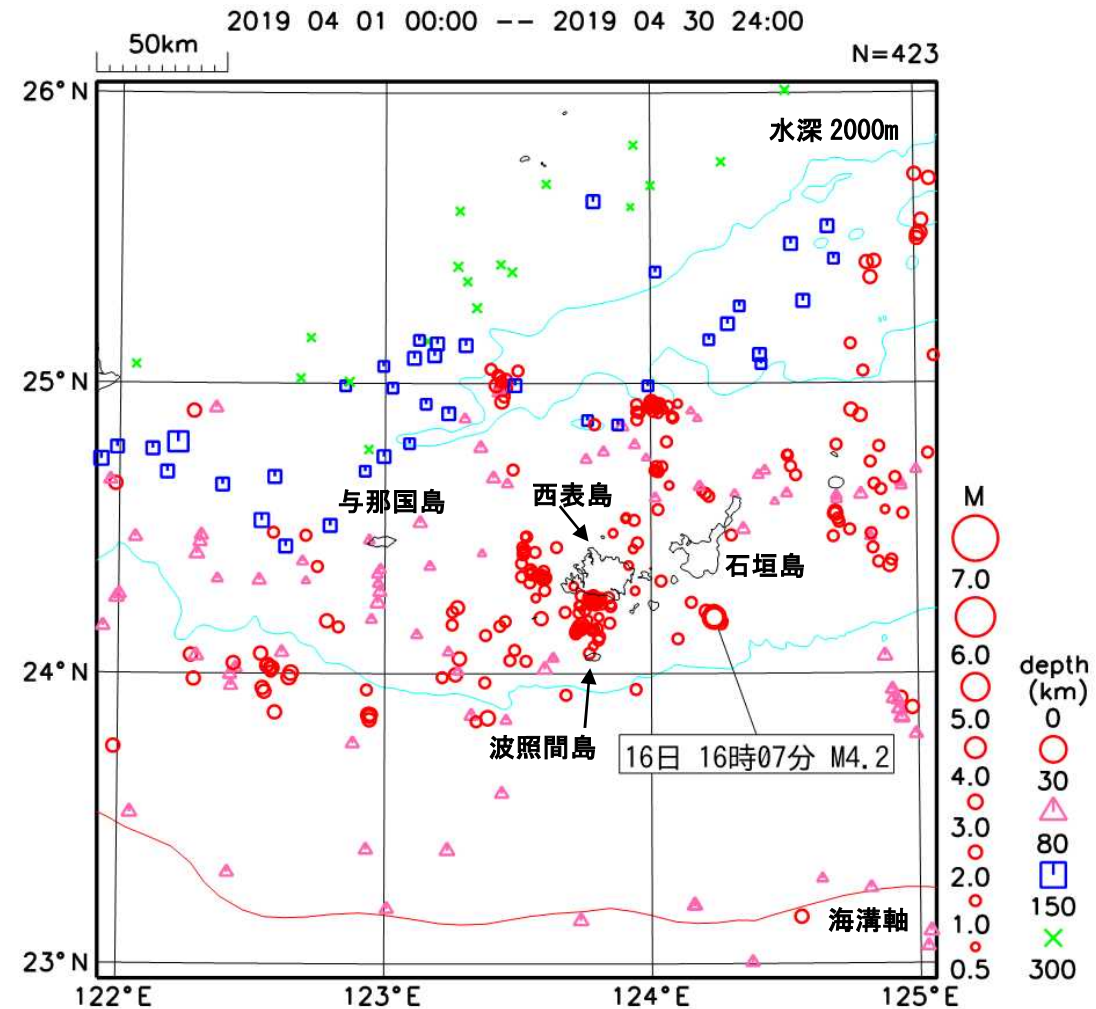


八重山地方の地震活動

2019年(平成31年)4月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、八重山地方で423回(3月420回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は2回(3月1回)でした。

16日16時07分に石垣島近海(石垣島の南南東約20km)で発生した地震(M4.2、深さ15km)により、石垣市、竹富町(黒島、西表島)で最大震度1を観測しました。

18日14時01分に台湾付近(与那国島の西南西約160km)で発生した地震(M6.5、深さ20km)により、与那国町で最大震度2を観測したほか、石垣島、黒島、西表島、波照間島で震度1を観測しました。(震央分布図範囲外。この地震の詳細は別紙「4月18日 台湾付近の地震」を参照)

八重山地方で震度 1 以上を観測した地震一覧（期間：4 月 1 日～30 日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019 年 04 月 16 日 16 時 07 分 沖縄県 震度 1：石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 竹富町黒島 竹富町船浮	石垣島近海	24° 11.6' N	124° 14.1' E	15km	M4.2
2019 年 04 月 18 日 14 時 01 分 沖縄県 震度 2：与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場* 震度 1：石垣市新栄町*, 竹富町黒島, 竹富町波照間, 竹富町船浮	台湾付近	24° 00.6' N	121° 30.8' E	20km	M6.5

* の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

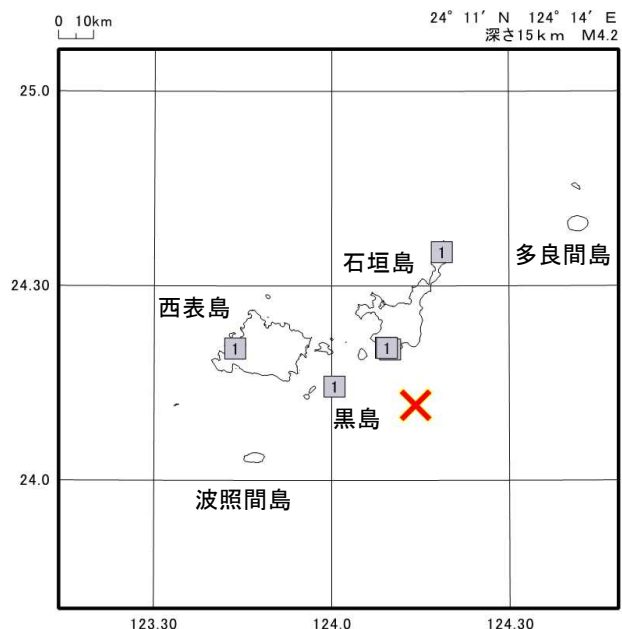
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

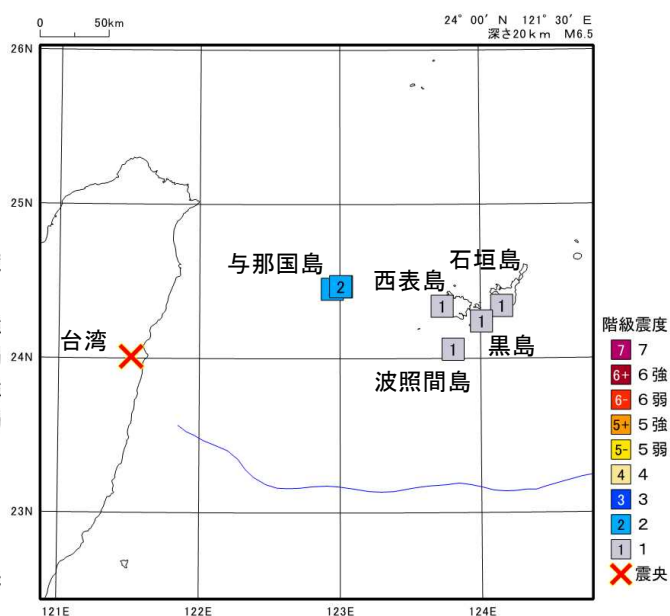
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

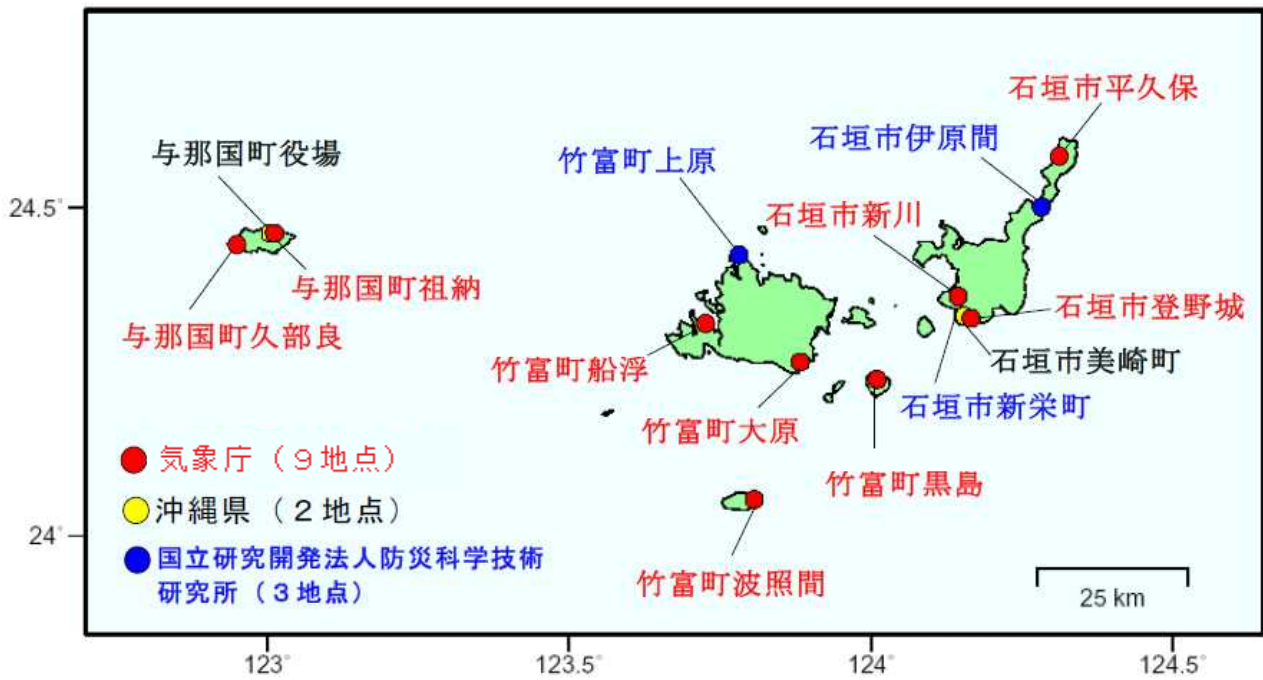
2019 年 4 月 16 日 16 時 07 分 石垣島近海の地震の震度分布図



2019 年 4 月 18 日 14 時 01 分 台湾付近の地震の震度分布図



八重山地方の震度観測地点



過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

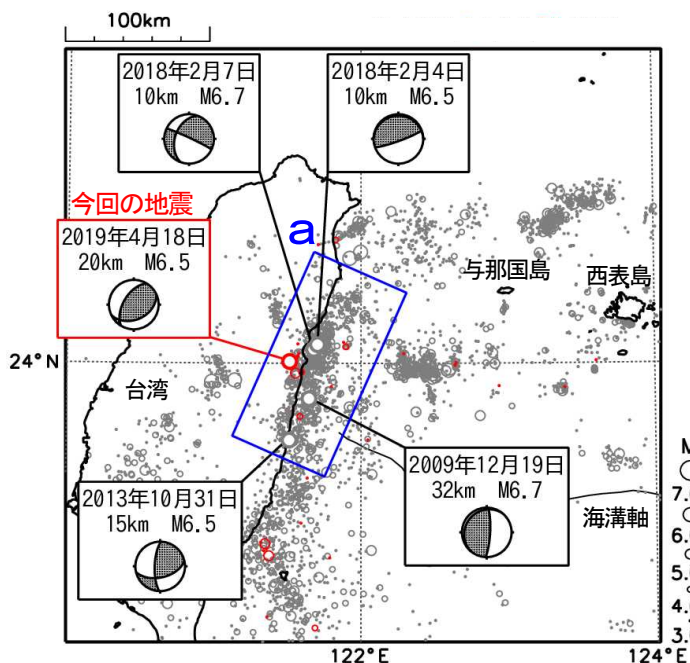
URL <https://www.jma-net.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

4月18日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年10月1日～2019年4月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)
2019年4月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

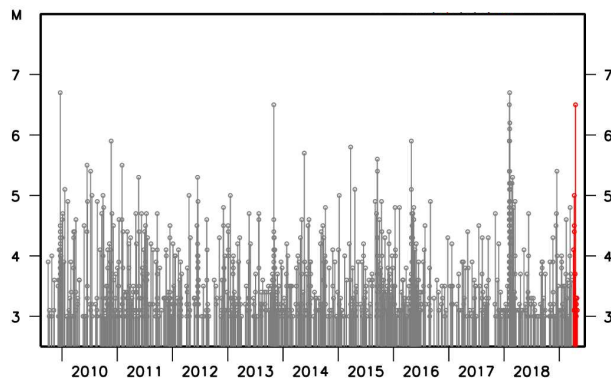


2019年4月18日14時01分に台湾付近の深さ20kmでM6.5の地震（日本国内で最大震度2）が発生しました。

この地震の発震機構（CMT解）は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型でした。

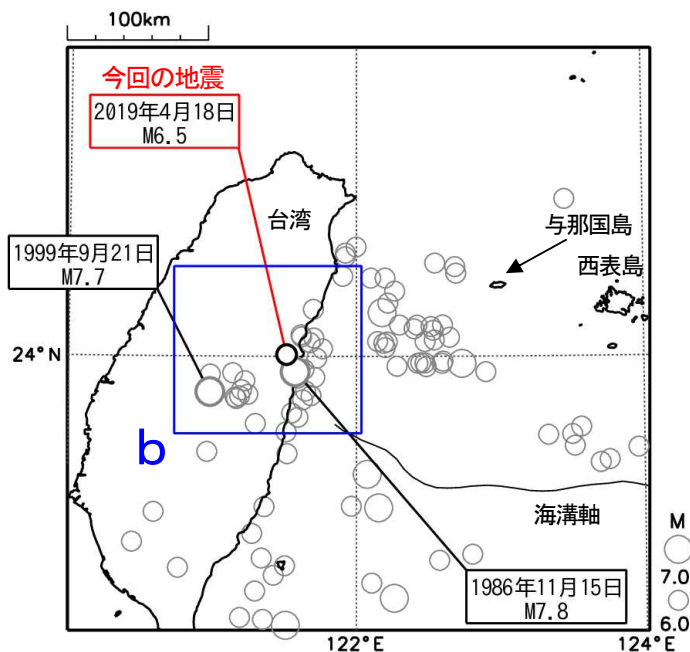
2009年10月以降の活動をみると、この地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2018年2月の地震活動では、2月7日のM6.7の地震を最大規模としてM6.0以上の地震が4回発生しました。

領域a内のM-T図



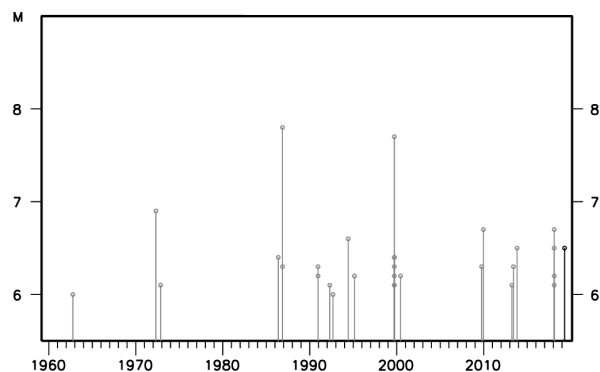
震央分布図

(1960年1月1日～2019年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



1960年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生しました。この地震により、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害が生じました。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害が生じました。（被害は、「宇津の世界被害地震の表」による）

領域b内のM-T図



※本資料中、2009年9月までの震源要素は米国地質調査所（USGS）による。2009年10月以降の震源要素は気象庁による。